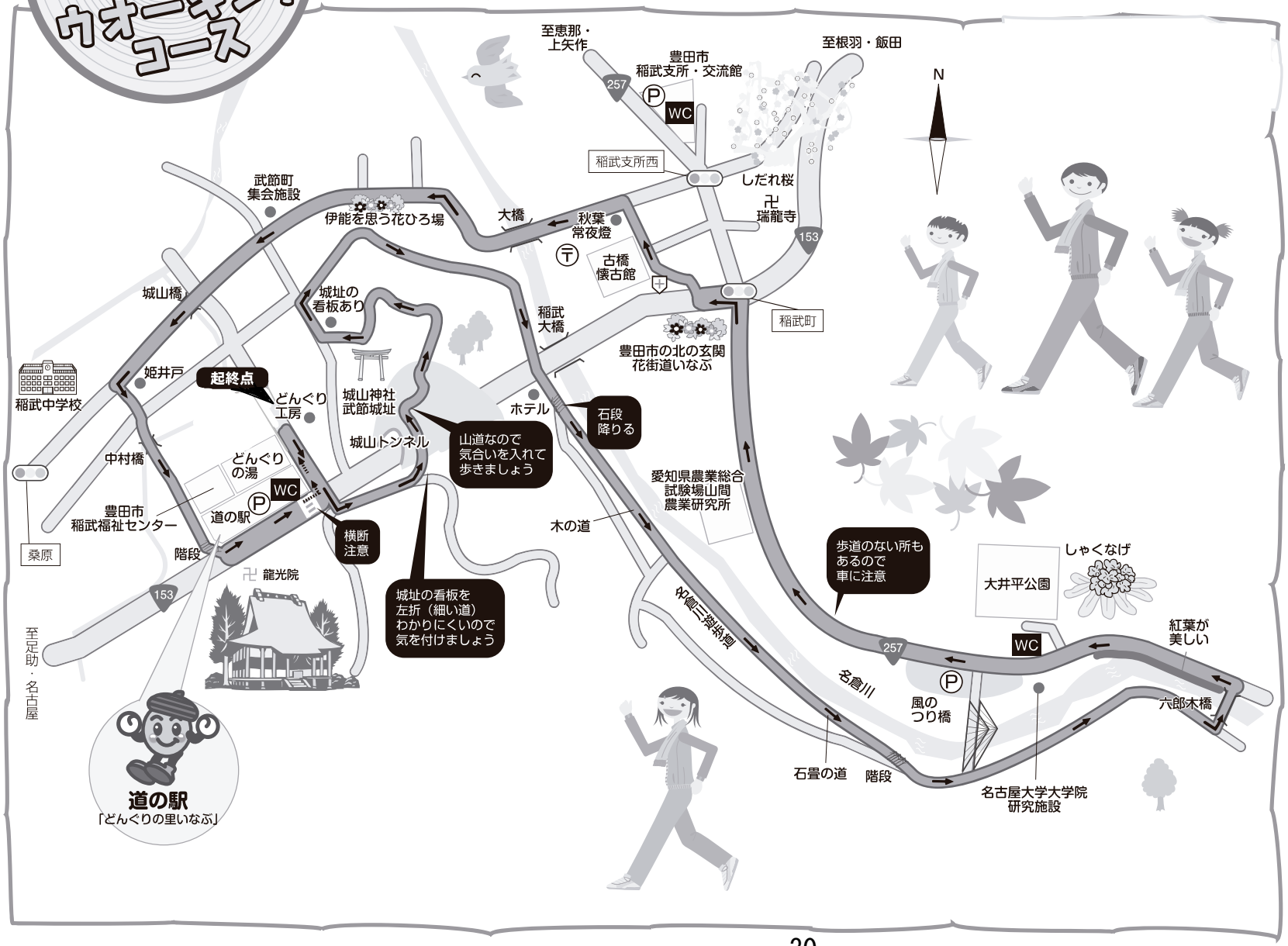
稲武地区 ウオーキングコース

全長4.0km

どんぐりの里コース

どんぐり工房（起点） 1.0km → 武節城址 3.0km → どんぐり工房（終点）



見どころ

●どんぐりの湯 どんぐり横丁

どんぐりの湯は1階の花の温泉と2階の森の温泉があり、さまざまな湯を楽しむことができる。どんぐり横丁では、地元で生産された農産物を始め、米やブルーベリーをコンセプトにしたオリジナル商品が販売されている。

●武節城址（ぶせつじょうし）

永正年間（1504～1521年）に田峰（設楽町）の菅沼定信によって築かれた。弘治2年（1556年）、信州の下条氏の侵略を受けたのち元亀2年（1571年）に武田信玄の軍門に下った。長篠の戦で敗れた武田勝頼が敗走のおりにこの城で休息し、梅酢湯を喫して甲州に帰ったと伝えられる。

●大井平公園（おおいだいら）

稲武地区の紅葉の名所。郡農会が頌徳碑を建立し、古橋家が造成した公園。170年の杉の巨木の下に3種類700本のしゃくなげが見頃となる。

●秋葉常夜燈（あきばじょうやとう）

豪農古橋家は酒造業を営み、この地域の政治の中心となった旧家である。その四代目義陳が、遠州秋葉神社に参詣する人々のために明和5年（1768年）に建立したものである。

●姫井戸

武節城落城の時、姫君が逃げ遅れ、敵の手にかかるよりはと、身投げした井戸。姫君は裁縫の名手であったことにちなみ、三日月の夜、豆腐に針を刺して井戸に納めると裁縫が上達するという。

ウオーキングの注意

- ●長い距離･時間を歩くときは水分補給を忘れずに。
- ●無理せず自分の体調に合わせて歩きましょう。
- ●ゴミはお持ち帰りください。
- ●住宅の近くでは静かに歩きましょう。